

特集
interview

女性が活躍できる社会へ 起業で夢を実現する

株式会社EBRU 佐藤 怜さん P2
株式会社 Mizlinx 野城 菜帆さん P4



We make our dreams come true by starting a business !!



データで見る男女共同参画 「日本の男女間賃金格差」	P6
アクト21 News	P6
topics	P7
Arakawa+Action こころと生き方・DVなんでも相談	P8

▶ 荒川区公式YouTubeチャンネルで
様々な分野で活躍する女性起業家へのインタビュー動画公開中!



編集・発行/荒川区立男女平等推進センター(アクト21) 2024年10月発行/登録(06)0051号
〒116-0012 荒川区東尾久5-9-3 アクト21 TEL 03-3809-2890 FAX 03-3809-2891
制作・印刷/(株)ドゥ・アーバン

女性が活躍できる社会へ

起業で夢を実現する

日本企業における意思決定層(役員・管理職)の女性比率は、先進国の中で最も低い状況にあります。そのような中、区内で起業し、夢に向かってそれぞれの分野で挑戦し続けている女性起業家の活躍に注目してみました。今号は、株式会社EBRUの佐藤怜さん・先山絵梨さん・田邊樹美さんのお三方、株式会社MizLinXの野城菜帆さんに、起業への思いや仕事のやりがい、将来の夢などを伺いました。

工芸やファッションを組み合わせたら何か面白いものができるのではないかな

私たち3人は金沢美術工芸大学の同級生で、学生時代からアートユニットを組み、模様を施したアクセサリーを手作りして、大学の文化祭や金沢市内のマルシェなどで売っていました。当時は、大学での工芸作品制作とは別に、お客さんに買ってもらうことを想定したモノづくりに面白みを感じていましたが、卒業後、私はファッションを学ぶためにイタリアへ留学、先山は特殊造形・メイクの専門学校を経てフランスに、田邊はテールウェアの商社に就職、と進みたい方向が違ったので、いったん活動を休止。それぞれの業界で働いたり、学んだりしていました。数年後に「また何かやりたいね」という話をしていました。

そのタイミングで私が帰国。3人が関わってきた工芸やファッションなどを組み合わせたら面白いものができるのではないかと考えたとき、アート作品として作ったイヤホンを実用的な商

を借り(現在は別のオフィスへ移転)、その間、ファッション、ECサイト運営、流通、法律などの専門家メンターから定期的にアドバイスをいただくことができ、有難かったです。

既製品のイヤホンにアート作品のカバーを付けただけではブランドにならないし、音質もデザインもこだわっているからこそお客さんがつくと考え、イヤホン本体もオリジナルに。イヤホン製造のハードウェアに多額の費用がかかったので、クラウドファンディング、銀行の創業融資、ものづくり補助金など様々な手法で起業資金を集め、結果、投資を受けるために株式会社を設立しました。東京都の女性起業家支援プログラムでも起業家仲間を増やして情報収集。様々なサポートのおかげで起業が実現しました。

「工芸」の価値を伝えて作り手の環境改善の力になりたい

私たちの起業はモノづくりを支援したいという気持ちからスタートしました。それぞれがモノづくりの現場を経験して感じたのは、良質なモノづくりと価格の不均衡という社会が生み出した構造的な問題。そこで、作り手の収益に還元するためにイヤホンの価格を上げ、インバウンド需要も利用し、本物の「工芸」の価値を理解してくださる海外のお客さんや国内富裕層に展開しています。工芸品で作ったイヤホンはアート作品であり、ガジェット、ファッション、ジュエリーでもあるので、それぞれの分野の展示会やイベントに参加し、どのお客さんにハマるの

品にして販売するというアイデアが浮かんできました。そこから生まれたのが、音楽とファッションとアートの融合イヤホン「イヤーマインド」です。当時は3人で区内のシェアハウスに住んでいたもので、家の中でアイデアをふくらませたり、サンプル品を手作りしたりしながら形にしていきました。



装着すると美しく映えるワイヤレスイヤホン

顧客のニーズをしっかりと検証して様々な起業サポートを利用

とはいえ、すぐに起業したわけではなく、スタートアップスタジオに参画して、1年くらいかけてニーズを検証。お客さんがついてから起業しようと考え、クラウドファンディングを利用したところ、欲しいと言ってくださるお客さんがいて、これはビジネスになると思いました。荒川区の起業支援拠点「イデタチ東京」は、たまたまインターネットで第一期の募集広告を見て応募。「ふらっとにつぼり」内にオフィス



まるで宝石箱の様な革のケース

か検証しているところです。イヤホンと作家のアート作品を一緒に展示して販売することも考えています。イヤホンがきっかけで作家のアート作品だけでも売れるようになるのが理想です。

ガジェット専門店やファッション系の店舗など、工芸作品が置かれていない場所でイヤホン売り、作品の価値を伝えられたら楽しいですね。アートやファッションなどの境目をつなげ、文化芸術・工芸全体で広がっていくのが会社としての目標。最近、「工芸」が超イケてるね、海外で人気でているよ、というようなムーブメントを感じたいし、作家の発注数が増えて、社会全体の価値観が変化し文化が継続する社会にしていきたいと考えています。

株式会社EBRU
代表取締役 佐藤 怜さん

Profile

岩手県出身。文化服装学院を中退後、金沢美術工芸大学工芸科染織コースで学ぶ。大学在学中に出場したファッションコンテストで特別賞を受賞し、イタリアのファッション大学院への留学権を得る。帰国後、共同創業者と共に欧州最大のファッションコンテストでアートワーク賞を受賞。2021年4月に大学の同窓生の先山絵梨(取締役)、田邊樹美(取締役)の三人で株式会社EBRUを設立。

「ふらっとにつぼり」とは

「地域の皆さんに愛され、地域コミュニティを更に醸成する場所」であるとともに、「日暮里繊維街を訪れた人が楽しみに立ち寄れる場所」、「日暮里繊維街の魅力と相乗して地域を活性化する場所」をコンセプトに建設された新しい複合施設です。5階にはファッション関連の起業家の支援施設「イデタチ東京」があります。イデタチ東京は、日暮里から羽ばたく起業家を支援するため、ビジネスノウハウやマッチングの機会を提供する場として誕生しました。

no. 01 「工芸 × 音楽」で起業

アート作品のイヤホンで「工芸」を海外へ

株式会社EBRU(エブル)の「イヤーマインド」は、音楽とファッションとアートが融合した新感覚のイヤホン。美術大学の同級生だった3人が起業したのは、「工芸」の作り手を応援したいという想いがありました。



左から先山絵梨さん、田邊樹美さん、佐藤怜さん



no. 02

「海洋 × IoT」で起業



海底の未知の領域を探究する

株式会社MizLinux（ミズリンクス）では、持続可能な海洋利用を実現するためのモニタリングシステムを開発。宇宙に憧れていた野城菜帆さんの夢と冒険心、そして水産業を支えたいという気持ちが起業につながりました。



上段：漁業者さんと機材の調整をしている様子
下段：機材の最終チェックをしている様子

人の役に立つモノづくりをしたい
と考えて大学院生のときに起業

3〜4歳の頃から宇宙への憧れがあり、宇宙飛行士になりたいと言っていました。しかし小学生になるとそれだけでは要素も大きすぎると思い、ロボットが自分の分身みたいな形で宇宙へ行くのもいいかと現実的に考えるようになったのです。もともとモノづくりが好きだったので、大学では機械工学を専攻。宇宙や深海、災害現場などの人が入れない厳しい環境下で、更に、ロボットが壊れやすい不安定な環境でも活動できる機械システムを作る研究をしていました。

起業に興味を持ち始めたのは大学3年の頃。ビジネスコンテストに出たり、大学の授業を受けてみたり、少しずつ形にしていっていたのですが、実際に起業した友人の話を聞いたら、自分の理想が世の中に役立つことに通じると信じて事業を動かす姿がカッコよく見え、私もそんなふうになりたいと思ったのが決め手になったと言えます。

大学院では、学生の有志メンバーのプロジェクトで、水中ロボットを作りました。モノづくりを追求していくなかで、せっかくなら誰かの役に立つものになりたいと考え、大学のアントレプレナー講座を受講し、起業について学びました。「水中ロボット×人の役に立つもの」として海洋観測システムのプロトタイプをつくったのがきっかけで、修士課程の2年次に起業しました。

海に関わる事業者をサポートして
宇宙の海の謎を解き明かすのが夢！

私たちの会社は、持続可能な海洋利用を実現するためのモニタリングのシステムを開発しています。具体的にいうと、海にカメラやセンサーを設置し、それをインターネットにつながるようにして、遠く離れた陸地でも海の様子が分かり、リアルタイムでピンポイントのデータが取れるようになるシステムです。

現状だと海の様子は実際に行かないと分からないことが大半。そのため、例えば台風のように船や養殖の魚が心配で見に行き、危険な目に遭ってしまうこともあります。そもそも水中のことは、高額な費用をかけてダイバーを雇わないと分からないこともあります。それらを機械化することで、安全面でもコスト面でも水産業を守って発展させていくことができるのではないかと考えています。

現在は、海上での気象は衛星データで見のが主流ですが、ピンポイントに設置したセンサーで測定した実測値のほうが正確な気象を知ることができます。私たちが開発したモニタリングシステムなら、事業を効率化したり、気象による大きな損失を回避したり、さらなるデータ活用の価値も見出していくことができます。

学生のうちに起業したので、会社の仕組みや仕事の流れという基本的なことが分からず、苦勞しましたが、本を読んだり、人から聞いたりして何とか前へ進んできています。多くのことに気づかせてくれたのは起業の良いところ、

水産業者の課題解決のために水中
ロボット開発の技術を活かそう

起業にあたっては、まず課題を知って、解決策を出していくことからスタート。私たちには水中ロボット開発という技術があったので、それが活かせるような領域を探しました。海での課題を知るため、大学OBのツテで造船業、重工業、海運業の大手企業へヒアリングに行きましたが、課題はあるものの、全て企業内の技術力で解決できるのでは、と感じました。

一方で、都道府県の水産課に直接連絡をしてプロジェクトの説明をすると、水産課の担当者や、その先の漁協、水産試験場、漁業者等の現場につなげていただけました。そこで分かったのが、漁業にかかわる中小企業や個人事業主には課題がたくさんある中で、解決できる技術があることを知らないため、解決策を選択しようがないという現実。予算や使い方の問題で選べないなら分かりますが、必要な情報が届いていなかったのです。そのうえ、水産業は男性社会であるため、女性が参入しづらい場所でもありました。

しかし、みなさん事業を継続するための切迫感があり、大学院生で何の経験や実績も持っていない私たちに対して、かなり真剣に話し合ってくださり、水産業への情熱も感じられ、こういう方たちの課題解決のために自分たちのモノづくりの技術を活かそうと決心しました。



野城さんと海洋モニタリングシステム「MizLinux Monitor」

人生をより豊かにできていると感じています。

自分たちがつくったものに対してユーザーである事業者からダイレクトにフィードバックを受けるのは楽しいし、財産にもなります。良いものなら「ありがとう」と言ってもらえてやりがいになり、使い物にならないと厳しい言葉をいただいても改善してほしいと関心を持ってくれているのだとモチベーションにつながります。

現在は定点のモニタリングに取り組んでいますが、将来的にはモニタリングシステムを動かせるようにして、いろいろな場所を見られるようにすることで、様々な機能を持つ観測網が海中に張り巡らされている環境をつくりたいです。そうすることで、海に関わる事業者をサポートして、ひいては地球環境を見直すツールにできればと考えています。個人的には、もっと海のことを知りたいし、いろいろな海の新しい発見をしたいし、海底にも行きたい。夢は宇宙空間で海があるといわれている場所を観測して、その謎を解き明かすこと。今後はそのための技術を高めていきたいですね。



株式会社 MizLinux
代表取締役 野城 菜帆さん

Profile

1996年千葉県生まれ。2022年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。大学院ではシミュレーションによる月面探査車の運動解析の研究および長期インターンにてIoT製品の試作業務に従事。2021年8月、大学院在学中に株式会社MizLinuxを設立、代表取締役に就任。(独)情報処理推進機構(IPA)2021年度末踏アドバンスト事業採択、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)2022年度「研究開発型スタートアップ支援事業/NEDO Entrepreneurs Program (NEP)」タイプB採択。Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2023受賞/2023年東京都ベンチャー技術大賞「特別賞」/女性活躍推進知事特別賞受賞。



イベントカレンダー

楽家事でワーク・ライフ・バランス！ ～心地いい家族のカタチ～

11/16 (土) 13:30 ～ 15:00

男女平等推進センターアクト 21

講師：山田 亮さん 家事ジャーナリスト

これから父親になる方にも、すでに父親になっている方にも、家事や子育てを通して、子どもの成長を感じると同時に、父親としての自分の成長を実感できるヒントをお届けします。

にっぽり秋まつり ～荒川区交流都市フェア in 日暮里にて 啓発ブースを出展

11/24 (日) 10:00 ～ 15:00

日暮里駅前イベント広場

DV を身近な問題として考えるきっかけ作りとして「女性に対する暴力防止」をテーマにしたパープルリボン啓発ブースを出展します。

ひとりで抱え込まない ～育児と介護「ダブルケア」～

2025/1/26 (日) 13:30 ～ 15:00

男女平等推進センターアクト 21

講師：植木 美子さん

子育てと親の介護に同時に直面する「ダブルケア」について、自身も当事者だった講師の方から、ダブルケアの現状や抱え込まないための支援などの話を聞きます。



申込方法

お申し込み等、詳細については、随時区の HP をご確認ください。
お問合せ：男女平等推進センターアクト 21 ☎ 03-3809-2890

データで見える男女共同参画

日本の男女間賃金格差

厚生労働省「令和5（2023）年賃金構造基本統計調査」によると、一般労働者の賃金は男性 350.9 千円、女性 262.6 千円で、男女間賃金格差（男＝100）は 74.8。平成 22（2010）年 69.3 から令和 4（2022）年 75.7 まで、男女間賃金格差は一時縮小傾向にありましたが、また少し格差が開いています。

雇用形態・年齢・性別で比較すると（右下グラフ参照）、正社員・正職員の男性 55 ～ 59 歳が最も高い 440.8 千円で、同じ雇用形態の同年代女性と 10 万円以上の差があり、正社員・正職員以外の 30 ～ 34 歳の女性は半額以下の賃金です。

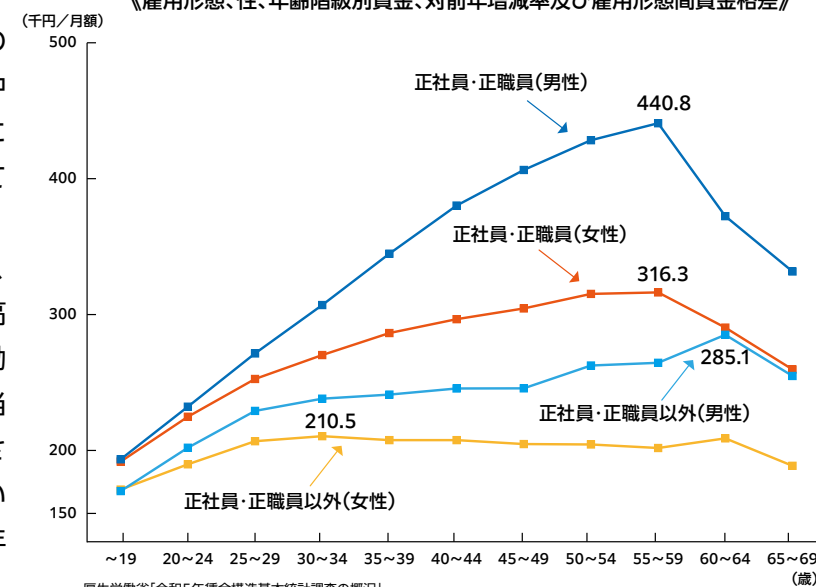
国際比較をしてみると、OECD.Stat の 2018 ～ 2020 年データでは、賃金の中央値の男女間格差は OECD 平均 88.4 に対して日本 77.5 と、先進諸外国に比べて日本の格差が大きい状況にあります。

男女間賃金格差が生じる理由としては、「管理職の女性が少ない」「給与水準が高い専門職に女性が少ない」「女性の平均勤続年数が短い」「職種が違う」「家族手当や住宅手当は男性世帯主を中心に支給されている実態にある」などが考えられています。男性の場合、勤続 10 年以上 25 年

未満では勤続年数が長いほど職階も高くなる傾向がありますが、こうした傾向は女性にはあまりみられず、業務の与え方に男女間で相違がみられることが勤続年数を経た後の賃金差となって現れるようです。

こうした男女間の賃金格差解消に向けて、令和 4 年 7 月 8 日の女性活躍推進法に関する制度改正により、常時雇用する労働者が 301 人以上の事業主を対象として、「男女の賃金の差異」が情報公表の必須項目になりました。法整備の進展に伴い、男女間の格差解消への取り組みが進められています。

《雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差》



アクト21 News | 区で行った事業をご紹介します！

令和6年6月8日(土)実施
「男女共同参画週間講演会」

第57次南極地域観測隊設営(調理担当)
渡貫淳子氏 講演会

「かあちゃん、南極で働く」
「極限の地での夢へのチャレンジ」

本年6月に令和6年度の男女共同参画週間講演会が開催され約90人の方が参加しました。

講師の渡貫淳子氏は子を持つ母親としては、史上初の調理隊員として、2016年より昭和基地で第57次南極地域観測隊の任務に就かれました。「南極に行きたい」と夢を周囲に語った時、はじめは相手にされなかったものの、ずっと言い続けていると次第に周囲の人々が夢を理解し、助けてくれるようになりました。

現地では調理隊員が事前に調達した冷凍食材で調理を行います。キャベツ1玉は7か月間かけて使うなど、生野菜は特に貴重だそうです。そして生ごみや水の問題も重要で「排水を出さない」ために、ビーフシチューは凍らせてから刻んでミートソースに、うどんのつゆは麩に吸わせて煮物にリメイク。そのような中で誕生し後に商品化された「悪魔のおにぎり」についてもお話くださいました。

渡貫氏によると、過酷な任務の中で食の役割は大きく、「自身も季節に沿った食事を出すことを心がけたそうですが、へみそ汁・ごはん・焼魚のよ

参加者の声

女性で家庭を持ちながらチャレンジされたお話、南極での制約がある中での生活の実体験を聞くことができ、チャレンジする心を忘れないことや日常のありがたみを改めて感じることができました、ありがとうございました。



一人の女性の生き方を知り、とても勇気づけられ、元気になりました。私も2人子どもがいます。自分のためにことを起こすのに後ろめたさを感じ前に進めない日々です。子育てをしながら女性が目標をもつことやチャレンジすることはとても大変です。私もなにか新しいことを始めたいです。



私も50代のころ、調理師学校で資格を取り、働いたことがあります。調理の世界はまだ、男性と女性の差別があり大変でした。その中でも南極という自然との戦いもあり、どんな風に心の健康を保っていたのかなどにかくいろいろあったと思います。その行動力に拍手を送ります。



うな何気ない食事がよければ、隊員たちを支えていたそうです。そして制約された生活の中で自信が生まれ「No」の理由よりYesの可能性を考えるようになった」と話される姿が印象的でした。男女共同参画について「南極では、男女の区別なく同じ仕事をしたが、肉体労働などどうしても男性に頼らなければいけないこともありました。適材適所でお互いを尊重し合うことも大切だと思います」と話されました。また、他の講演会で出会った高齢女性のエピソードを披露し、「その方は南極観測隊に参加したかったけれど、時代的に女性が行くことは難しかったそうです。今は、女性が活躍できる場が増えてきていますが、これからも女性ができることを広げていく活動をしていきたいです」と締めくくりました。

生理の貧困対策と 福祉施設の支援

株式会社インソースでは、講師派遣型研修事業等を通して、女性の活躍推進に力を入れています。

2021年に本社を荒川区へ移転した際、女性に話すことで何か支援ができないかと、荒川区に話をさせていただき区役所や男女平等推進センターなどで配布される生理用品の寄付を始めました。

2022年には「生理の貧困対策支援プロジェクト」を社内で立ち上げ、全国に取引先がある当社のネットワークを活かして企業スポンサーを募り、全国の自治体や社会福祉協議会、学校などに生理用品を提供。生理の貧困に限らず、各地域の課題を企業も一緒に取り組み、解決することができる関係構築を考えています。



荒川区役所に寄付された生理用品



株式会社インソース
社長室兼事業推進室 石渡純恵さん(右)・松原明香さん(左)

さらに、当社のホームページでは、福祉団体の商品を届けるショッピングサイトを設置しています。もともと福祉作業所のお菓子を当社が定期的に購入していたことから始まった取り組みを少しずつ広げていく形で進めてきました。

障がいのある方々が製造した商品は一つひとつが丁寧に作られていて、本当においしく、温かみのあるものばかりです。多様な方々が活躍できる社会づくりに貢献したいという想いから、当社の研修会場でも定期的に販売会を実施するなど、福祉団体の商品の知名度アップに取り組んでいます。

家族や友人には話づらいこと、
誰かに聞いてほしいことを
専門のカウンセラーに話してみませんか？

\\ こんなことで、悩んでいますか？ //

家族のこと

- ・親との関係がうまくいかない
- ・子どもの事がいろいろと心配
- ・父親が母親に暴力をふるっているかもしれない

夫婦のこと

- ・パートナーの異性関係を悩んでいる
- ・夫婦の信頼関係を修復したい
- ・いつも、パートナーの顔色をうかがってしまう

自分のこと

- ・最近、気持ちが落ち込みぎみ
- ・今後の生活を考えると不安
- ・自分の気持ちを伝えることが苦手で、誤解されてしまう

周囲の人のこと

- ・ママ友とうまく付き合えない
- ・ご近所さんとの付き合い方がわからない
- ・会社の上司同僚に嫌がらせをされている

LGBT専門相談(原則毎月第4火曜日、16時～18時)の予約も受け付けていますので、気軽にご相談ください。

秘密は厳守
されます



お気軽に電話をください

アクト21

(荒川区立男女平等推進センター)

『こころと生き方・DVなんでも相談』

☎03-3809-2890 [事前予約制]

※相談は「無料」です。

面接相談と電話相談、ビデオ電話相談があります。

※男性は電話相談のみとなります。

相談日 水曜日・金曜日・土曜日 ※時間は週によって違います

各月	水曜日	金曜日	土曜日
第1	17時～20時	10時～16時	—
第2	10時～16時	14時半～20時	10時～15時
第3	14時半～20時	14時半～20時	—
第4	10時～16時	10時～16時	—



Access

- 都電荒川線、日暮里・舎人ライナー
「熊野前」駅より徒歩約3分
- 都バス「熊野前」停留所より徒歩約1分